

あなたと博物館

松本市立博物館ニュース No.201 2015.11.1

河野齡藏生誕150周年にあわせて、その功績を紹介する特別展を開催しています。松本出身の教育者・博物学者の実像の一端にふれてみませんか。

標本室の河野齡藏



「学都松本」と「岳都松本」を象徴する偉大なる先人
その名は、「河野齡藏」

会期 2015年 10月24日(土) ▶ 12月13日(日)

2館で連携して好評開催中!

会場 松本市立博物館 / 生誕150周年記念特別展「河野齡藏～博物学者のProfile～」
山と自然博物館 / 「河野齡藏～植物を愛した教育者～」

もくじ

- 博物館TOPICS ◇ 平成27年度 名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センター公開講座
「開智学校の魅力」……………2-3
- 誌上博物館 ◇ 重要文化財旧開智学校校舎記念展「教育博物館50年の歩み」……………3
- ガイドコーナー ◇ はんでんぼく……………4

美しく生きる。
健康寿命延伸都市・松本



平成 27 年度 名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センター 公開講座「開智学校の魅力」

平成 27 年 9 月 12 日(土)、重要文化財旧開智学校校舎(以下「旧開智学校」と略す。)で公開講座「開智学校の魅力」が開催されました。この公開講座は、松本市教育委員会と名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センターが、平成 25 年に締結した「文化・学術活動及び地域貢献に係る連携に関する覚書」に基づき、学術研究成果の社会還元と地域連携を図るため、市民を対象に行われました。



重要文化財の校舎で行われた公開講座

全国に先駆けて行われた松本での防災教育

木俣元一センター長のあいさつで開会し、吉川卓治教授(日本教育史)が「開智学校における防災教育のあゆみ」と題して講義されました。その中で吉川教授は、昭和 9 年(1934)9月の室戸台風の折、死者・行方不明者が 3000 人強で、特に子どもが被害にあったため、10月31日の「非常災害ニ対スル教養ニ関スル件」(文部省訓令 9)の中で、火災・地震・風水害などに関する教科や学校生活指導、災害防止のための避難訓練が示され、この年が「防災教育元年」といえると述べられました。

しかし、明治 29 年(1896)の「尋常科雑課細目」(旧開智学校所蔵)によれば明治 21 年 1 月の大火をきっかけに、男性教員と高等科 4 年生の男子生徒で学校消防隊が結成。また明治 24 年 11 月の濃尾大震災をきっかけに避難訓練が始められていたことが記載されています。このことから、「開智学校は中央の指示に先駆け独自に防災訓練に取り組んでおり、防災教育の先進地といえる」と結論付け、今こそ地域独自の防災教育が必要であるとの問題提起がなされました。



校舎見学の様子

開智校舎の魅力再発見!

続いて、西澤泰彦教授(建築史)から、「擬洋風建築としての開智学校校舎」をテーマに、棟梁・立石清重の努力と工夫について解説がありました。

旧開智学校校舎は、擬洋風建築のユニークな建築物として注目されています。そのモデルはどこにあったのか?立石清重が残した「御鑑札控帳・東京出府記」(明治 8 年)によると円井学校、開成学校、大蔵省、三井組ハウス(明治 5 年竣工)などであったようです。



外に出られないバルコニー



2階の窓



和紙を5層に貼り重ねた天井



外壁は漆喰塗、腰壁は黒漆喰の目地

各自がみつけた魅力を発表

講義の後で参加者は2グループに分かれ、校舎の平面図などを持って「おもしろい」「なぜ?」と思う場所とその理由を図に記入し、写真係がその場所を撮影していきました。その後、参加者は松本市中心図書館へ移動し、成果をまとめて、おすすめの場所を発表しました。

今回の講座には、名古屋市からの参加者もあり、松本市民との交流ができたことも有意義でした。

学都・松本の魅力を発信

西澤教授は、旧開智学校に残されていた「開智学校新築仕様帳」(明治8年)をもとに計画時と完成時の建設費を比較して分析しています。それによると、大工の手間賃が半減され、瓦屋根の面積が1,303坪から585坪に削減されるなど、総額で約6割の経費削減があったそうです。その一方



開智学校の魅力は?グループでの話し合い

で、彫刻などの装飾にかかる経費は62%の増額があったといえます。

今回、教育をテーマに、学都・松本を象徴する開智学校に着目し、松本市教育委員会と名古屋大学の学際的な地域研究の成果をもとに、市民の方々とともに公開講座の実施にいたり、参加者各自が開智学校の魅力を認識する機会となりました。今後も市民の方々と協働して取り組む事業を開催していきたいと思います。

(重要文化財馬場家住宅 学芸員/大島浩)

重要文化財旧開智学校校舎 記念展「教育博物館50年の歩み」

1 教育博物館としての歩み

本展は、重要文化財旧開智学校校舎(以下「旧開智学校」と略す。)が、教育博物館として生まれ変わってから50年を迎えたことを記念し、これまでの歩みや研究成果を紹介する記念展です。

擬洋風建築の代表例として評価されている旧開智学校ですが、地方における近代教育の実践を示す豊富な教育資料も高い評価を受けています。

教育博物館となってから、旧開智学校では『史料開智学校』の刊行を始めとした資料整理・研究活動を積み重ねてきました。また、校舎や資料を活用した講演会や「明治の授業」などの体験講座も展開してきました。こうした活動を振り返り、これからの旧開智学校の活用を考える機会になればと考えています。

2 重要文化財附資料

今回の展示の見どころは、重要文化財附資料^{ついたり}の公開です。普段はレプリカの展示を行っていますが、今回の展示期間中のみ実物を公開いたします。校舎を設計・施工した立石清重の遺した建築資料は、

校舎建築の詳細が記されており、明治初期の擬洋風建築の工法・工程を示す貴重な資料です。この機会にぜひご覧ください。

3 その他の見どころ

重要文化財附資料のほかにも、最新の研究による開智学校における防災教育の取り組みや、人気の高かった歴代教科書を紹介する展示の復活など、ほとんどの展示室をリニューアルします。過去にご来館されたことがある方も、旧開智学校のもつ資料の奥深さを楽しんでいただけることと思います。50周年記念事業の最後を飾るこの記念展に足をお運びいただければ幸いです。

(重要文化財旧開智学校校舎 学芸員/遠藤正教)

開智学校新築費用総額帳
(明治8~9年)

記念展「教育博物館50年の歩み」

[会 期]11月1日(日)~平成28年1月11日(日)・(祝)

[会 場]重要文化財旧開智学校校舎

松本市立博物館から ☎0263-32-0133

年中行事シリーズ「冬至かぼちゃサービス」

市立博物館では、博物館ボランティア・エムの会と協働して折々の年中行事にかかわる「食」の伝承に努めています。今回も、冬至の日にこの地方の家庭で食した「冬至かぼちゃ」を来館者にふるまいます。

日時 12月20日(日)
午前10時～無くなり次第終了
会場 松本市立博物館
料金 通常観覧料
(大人200円、小中学生100円)
問合せ 松本市立博物館へ



冬至かぼちゃサービス

はかり資料館から ☎0263-36-1191

企画展「今昔はかり展」

江戸時代に秤座として、はかりの製造を担った守随家と神家のはかりを中心に、近世・近代の「携帯用皿秤」を紹介し、



合わせて、常設展示のコーナーに、現代のはかりを加えて、今昔が比較できるよう展示します。

日時 10月27日(火)～11月23日(月)
午前9時から午後5時(入館は、午後4時半まで)
会場 はかり資料館
料金 通常観覧料
(大人200円、中学生以下無料)
問合せ はかり資料館へ

窪田空穂記念館から ☎0263-48-3440

空穂生家将棋教室

日時 11月14日(土)午前10時～午後4時
会場 窪田空穂生家
対象 小中学生
料金 無料
指導者 石川陽生七段、小林宏七段、田中悠一五段、藤森哲也四段
定員 40人
申込み 電話で窪田空穂記念館へ

空穂生家百人一首教室

日時 11月21日(土)、12月5日(土)、19日(土)
午後1時～3時
会場 窪田空穂生家
料金 無料
対象 中学生以下のお子さんと保護者
指導者 駒井千枝子氏 / 学習塾講師
申込み 電話で窪田空穂記念館へ

松本民芸館から ☎0263-33-1569

企画展「没後30年 丸山太郎がのこしたもの」

ひたむきに民芸の道を歩んだ丸山太郎は、民芸館や螺鈿細工などの作品を残しただけでなく、心地よさをかもし出す民芸のまち松本の基礎づくりもしました。

会期 11月3日(火)～1月24日(日)
会場 松本民芸館
観覧料 通常観覧料
(大人300円、中学生以下無料)



卵殻貼三重菓子入

講演会「民芸・クラフト そしてこれから」

「工芸の五月」にも関わっている、都市計画家の倉澤聡さんをお迎えして、民芸とクラフトについてお話をお聞きます。

日時 11月8日(日)午後1時30分～3時
定員 30名
料金 通常観覧料
(大人300円、中学生以下無料)
申込み 電話で松本民芸館まで

わら細工 体験講座「しめ縄づくり」

日時 12月20日(日)9時30分～正午
定員 10名(小学生以上)
講師 竹下賢一氏
参加費 300円
申込み 電話で松本民芸館へ

考古博物館から ☎0263-86-4710

史跡探訪「埴原城を歩く」

長野県史跡に指定されている埴原城は、大規模に造成された堀切や石積みが良好な状態で残されており、その複雑な遺構は松本市内でも屈指です。埴原城を歩き、歴史の現場を体感してみませんか。

日時 11月21日(土)午前9時30分～正午
※悪天候の場合は、11月28日(土)に延期します。
集合 埴原城・蓮華寺入口駐車場
(松本市中山4524)
定員 先着20名
料金 200円
持ち物 運動のできる服装、防寒具、水筒など
申込み 電話で考古博物館へ

四賀化石館から ☎0263-64-3900

化石教室「レプリカ作りコース」

アンモナイトや三葉虫、サメの歯が作れます。

日時 11月28日(土)
①午前9時～11時30分
②午後1時～3時30分
会場 四賀化石館2階学習室
定員 20名
対象 5歳以上のお子さんと保護者
料金 一人500円
申込み 前日までに電話で四賀化石館へ

重文馬場家住宅から ☎0263-85-5070

布ぞうり作り体験教室

日時 11月14日(土)午前10時～午後3時
会場 馬場家住宅主屋
料金 1,800円
定員 10名
申込み 電話で馬場家住宅へ

お茶席の会

日時 11月15日(日)午前10時～正午
会場 馬場家住宅主屋
担当 おしゃれ茶道の会(裏千家)
料金 通常観覧料
(大人300円、中学生以下無料)
申込み 不要

そば打ち体験教室

日時 11月22日(日)午前9時～正午
会場 馬場家住宅主屋
料金 500円
定員 20名
申込み 電話で馬場家住宅へ
その他 馬場家住宅前ではお茶取りまつりが開催されます

松本平の御柱展

松本地方に正月の風習として残る「御柱」の行事を紹介します。

日時 12月5日(土)～1月17日(日)
会場 馬場家住宅主屋
料金 通常観覧料
(大人300円、中学生以下無料)

馬場屋敷ピアノリサイタル

馬場家住宅恒例の、ピアノリサイタルです。江戸時代の民家で、110年前のピアノの音色を楽しんでみませんか。

日時 12月12日(土)午後2時～
会場 馬場家住宅主屋
演奏者 ヤスヨ・テラシマ・ヴェアハーン
入場料 無料

内田のおんべ祭り見学会

馬場家住宅周辺で行われている「内田のおんべ祭り」(市重要無形民俗文化財)を見学します。

会場 1月14日(木)正午～午後4時
定員 10名
料金 500円
その他 行程はすべて徒歩での移動となります。
問合せ 馬場家住宅へ



内田のおんべ祭り

あとがき

今年度、博物館が推進している事業のひとつに「学校サポート事業」があります。それぞれの館の特色を授業や修学旅行に活かす取り組みです。馬場家住宅では景観の活用をテーマに、学校や保育園に呼びかけ、新規に写生会の取材地として来館いただけました。各館で新しい博物館の活用方法を模索しています。(H.O)

あなたと博物館 No.201

発行年月日/平成27年11月1日
編集・発行/松本市立博物館
〒390-0873 松本市丸の内4番1号 Tel.0263-32-0133
URL: http://www.matsu-haku.com
e-mail: mcmuse@city.matsumoto.nagano.jp



印刷 川越印刷株式会社